

科目名	情報処理Ⅱ Information ProcessingⅡ			担当教員	糸川一也		
学年	3年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	専門	授業形式	講義・演習	科目番号	13235008	単位区別	履修
学習目標	C言語の文法とC言語によるプログラミングを学習し、プログラミングの基礎能力を養成する。標準規格(C89)の範囲でのC言語によるプログラミングができることを目標とする。						
進め方	教科書に沿って進める。学習項目を解説した後、教科書の本文中および演習問題のプログラムを作成する演習を実施する。プログラムの入力、コンパイル、動作確認の作業を各自が行う。演習問題を解くことによりプログラミング能力を次第に養成してゆく。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. Linux コマンド, Emacs の使い方(2) 2. 変数と算術式(2) 3. For 文, 記号定数(2) 4. 文字入出力(2) 5. 配列(2) 6. 関数, 文字配列, 外部変数と通用範囲(2) 7. 変数名, データ型とサイズ, 定数, 宣言(2)			ファイルの作成ができる。 D2:2 C言語の基本的な文法を知る。 D2:1			
	[前期中間試験](2)						
	8. 試験問題の解答(1) 9. 演算子, 式(3) 10. If-Else 文, Else-If 文, Switch 文(2) 11. ループ(2) 12. 関数(2) 13. 外部変数(2) 14. 通用範囲(2) 15. 再帰(2)			関数の作成と利用ができる。 D2:2 再帰について理解し, プログラムを作成できる。 D2:2			
	前期末試験						
	16. 試験問題の解答(1) 17. ポインタ(3) 18. ポインタと配列(2) 19. ポインタ配列(2) 20. コマンド行の引数(2) 21. 関数へのポインタ(2) 22. 複雑な宣言(4)			ポインタを利用できる。 D2:2 配列を利用できる。 D2:2			
	[後期中間試験](2)						
	23. 試験問題の解答・構造体(1) 24. 構造体と関数(1) 25. 構造体へのポインタ(2) 26. Typedef, 共用体, ビット・フィールド(2) 27. 標準入出力(2) 28. ファイルアクセス(2) 29. 標準ライブラリ(4)			構造体を利用できる。 D2:2 ファイルの読み書きができる。 D2:2 標準ライブラリを知る。 D2:1			
	後期末試験						
	30. 答案返却・解答(2)						
評価方法	定期試験を 80%, 演習を 20% の比率で評価する。						
履修要件	特になし。						
関連科目	情報処理Ⅰ（2年）→ 情報処理Ⅱ（3年）→ 情報処理Ⅲ（4年）→ ネットワークプログラミング（5年）						
教材	教科書：B.W.カーニハン, D.M.リッチー 著 石田晴久 訳 「プログラミング言語C第2版」 共立出版 参考書：情報処理研究会 編 「初心者のためのプログラミング課題集」 森北出版 プリント						
備考	オフィスアワー：毎週月曜日 15:35～16:35						